

公益社団法人
日本図書館協会

Since 1892

知識が開く世界への扉
図書館は生涯にわたる学びを支援します

Japan
Library
Association

日本図書館協会に ご入会ください

日本図書館協会は、2014年1月21日をもって
公益社団法人として再出発しました。

日本図書館協会の歴史

いま協会は、
今後の図書館活動を支え、ともに考え、行動し、
日本の図書館界に清新な活力を注いでくださる
みなさまの参加を求めています。

協会には、
図書館領域などで分かれた活動部会と、
課題別に調査し、研究し、事業を行う委員会が
あります。

あなたはどんな活動を期待していますか。
よりよい図書館づくりを一緒にすすめましょう。

ご入会をお待ちしています。

1892年 日本文庫協会（日本図書館協会の前身）設立
1906年 第1回全国図書館大会開催
1907年 機関誌『図書館雑誌』創刊
1908年 「日本図書館協会」と改称
1929年 国際図書館連盟（IFLA）に加盟

1947年 社団法人として再発足
1950年 日本図書館協会を中心とする図書館界の運動
が結実し「図書館法」が成立

1952年 国際図書館協会連盟（IFLA）に再加盟
1953年 『日本の公共図書館』（後の『日本の図書館』）
刊行

1954年 全国図書館大会で「図書館の自由に関する宣言」採択、『現代の図書館』創刊

1971年 図書館法が公布された4月30日を「図書館
記念日」にすることを全国図書館大会で決議

1973年 東京都世田谷区に旧図書館会館が竣工
1979年 総会で「図書館の自由に関する宣言 1979年
改訂」を決議

1980年 総会で「図書館員の倫理綱領」を決議
第1回児童図書館員養成講座

1982年 『図書館年鑑』創刊

1985年 第1回日本図書館協会建築賞発表

1986年 IFLA 東京大会開催

1992年 日本図書館協会創立100周年記念式典

1997年 「JLA 図書館情報学テキストシリーズ」刊行
開始

1998年 東京都中央区に新図書館会館完成

2000年 『JLA メールマガジン』創刊
中堅職員ステップアップ研修開始

2004年 文部科学省と共催で「図書館をもっと身近に
暮らしの中にーディスカバー図書館 2004」
開催

2006年 第1回障害者サービス担当職員養成講座

2010年 日本図書館協会認定司書事業開始

2011年 東日本大震災の被災地に図書館サービスを
届ける「Help-Toshokan」実施

2014年 1月20日に公益社団法人に認定

●活動部会

公共図書館部会	学校図書館部会
大学図書館部会	専門図書館部会
短大・高専図書館部会	図書館情報学教育部会

●委員会

図書館政策企画委員会	著作権委員会
図書館の自由委員会	図書館利用教育委員会
資料保存委員会	障害者サービス委員会
児童青少年委員会	国際交流事業委員会
図書館雑誌編集委員会	現代の図書館編集委員会
図書館年鑑編集委員会	出版委員会
目録委員会	分類委員会
件名標目委員会	研修事業委員会
図書館調査事業委員会	図書選定事業委員会
施設委員会	出版流通委員会
多文化サービス委員会	健康情報委員会
認定司書事業委員会	

日本図書館協会 Q&A

Q 日本図書館協会は図書館の発展にどのように役立つのですか？

A. 公益社団法人日本図書館協会の目的は、「図書館の進歩発展をはかる事業を行うことにより、人々の読書や情報資料の利用を支援する」ことです。新しい法律の下での公益法人は、不特定多数の者に裨益する（役立つ）活動を行うことが目的として規定されています。公益社団法人の会員は、会費を納めつつ、その会費は、自己の利益のためではなく、他の人々、他の図書館に貢献できるような活動に使うことが求められているのです。

日本図書館協会はその目的達成のために、様々な事業を行っています。

Q どのような人たちが運営しているのですか？

A. 代議員*によって選ばれた理事が構成する理事会が執行機関となり、日本図書館協会全体の運営に責任を負うこととなります。理事の中から代表理事（理事長と副理事長）と業務執行理事（専務理事と常務理事）が選定され、具体的事業活動に関与、つまり実際の運営に関わっています。公益社団法人としてふさわしい運営すなわちコンプライアンスと情報の共有・透明性が基本です。

*代議員は、正会員の中から正会員の選挙によって選出されます。

Q 企業や個人が日本図書館協会を支援するにはどのような方法がありますか？

A. 図書館サービスの向上を通じて国民生活に役立つこと、これが日本図書館協会の活動目的です。この活動を支援していただく方法として賛助会員と寄附の制度があります。

- ・賛助会員として入会していただく制度
年会費額 一口 10,000 円（何口でも）
- ・寄附 特定公益増進法人として、税制上の優遇措置が適用され、寄附者は所得税・法人税の控除が受けられます。

*詳しくは、総務までお問合せください。

Q 日本図書館協会にはだれでも参加できるのですか？

A. どなたでも参加できます。日本図書館協会は、図書館員とりわけ司書資格をもつ人に限られたものと思われがちですが決してそうではありません。日本図書館協会の活動はみなさんにかかれています。新しい規程で会員の種類を増やして入会をしやすくしました。また日本図書館協会が主催する各種の講座・セミナーもどなたでも参加できます。（一部には図書館の経験年数や司書資格を問うものもありますので個々の事業の案内でご確認ください。）

Q 図書館がよりよくなるような活動に参加したいのですがどんなことがあるのでしょうか？

A. 日本図書館協会の会員になって活動を支えていただくことはもちろんですが、ほかに多くの「図書館関係団体」があります。住民運動や読書推進の団体、都道府県単位の図書館協会や館種別の団体もあります。まず身近なところから参加してみることも一法です。「図書館関係団体」についてお知りになりたい場合は『図書館年鑑』（日本図書館協会）をご覧ください。

Q 日本図書館協会の活動資金はどうやって得ているのですか？

A. 日本図書館協会は広範で多様な活動をしています。公益社団法人として税法上の措置を受けますが、活動（事業）に関わる経費の一切は自ら得た収入でまかっています。その収入の三分の二以上を会費と出版事業の収益が占めています。会員の拡大と出版物の普及は不断に取り組むべき課題です。一方で公益社団法人は寄附の控除が受けられますので日本図書館協会の活動に対する支援（寄附等）を広く積極的に募っています。

日本図書館協会の事業

日本図書館協会はこれらの事業に重点的に取り組んでいます

図書館職員の育成・研修

高度な専門性をめざす……中堅職員ステップアップ研修
基礎を学ぶ……図書館基礎講座、学校図書館基礎講座
利用者に対応したサービス……児童図書館員養成専門講座、障害者サービス担当職員講座
新しいテーマや技術……資料保存セミナー、図書館建築研修会

「日本図書館協会認定司書」……専門性の向上に不可欠な図書館の実務経験や実践的知識を継続的に習得した者を評価し、図書館経営の中核を似ないうる司書として公的に認定
「JLA 図書館情報学テキストシリーズ」、「JLA 図書館実践シリーズ」
……図書館情報学を学ぶ人たちや図書館サービスの担い手に役立つ資料

図書館にかかわる情報の収集と提供

機関誌『図書館雑誌』（月刊）、『現代の図書館』（季刊）……あらゆる館種、テーマについて
JLA メールマガジン（週刊）……最新情報を簡潔に伝える
資料室……図書館に関する資料の集積・整理、レファレンス、一般に公開
『日本の図書館 統計と名簿』（年刊）……全国の公共、大学、短大、高専図書館の調査
『図書館年鑑』（年刊）……図書館にかかわるあらゆる事象を記録

時機を得た政策提言、意見の表明

公立図書館における「アンネの日記」破損事件について（声明）（2014年）
学校図書館法の一部を改正する法律案（仮称）骨子案」に対する要望（2013年）
「豊かな文字・活字文化の享受と環境整備 - 図書館からの政策提言」（2012年）
東日本大震災により被災した図書館の復旧、復興のための施策について（要望）（2011年）

図書館の運営・サービスのための調査、ツールの作成

『日本十進分類法』、『日本目録規則』、『基本件名標目表』の維持管理
『図書館用語集』『図書館ハンドブック』の改訂、『図書館実践シリーズ』の刊行
「図書館の設置及び運営上の望ましい基準活用の手引き」の普及

国際交流、関係団体との連携

各国図書館協会との交流、IFLA 大会
Help-Toshokan JLA 東日本震災対策委員会が中心となり、他機関と協力して被害を受けた図書館の復興のため資料的、人的支援を実施している。

日本図書館協会の研修

専門性を高めるための体系的で幅広い内容の研修

ほぼ毎年実施している研修や講座を掲載しました。日程、会場や内容は2014年度実施予定のものです。詳しくは『図書館雑誌』NEWS欄やJLAホームページのイベントカレンダーをご覧ください。

- 図書館運営の中核を担う職員の養成を目指します。

中堅職員ステップアップ研修（1）

12科目（30時間）

日程：2014.10/20-22、11/17-19

会場：日本図書館協会

【内容】社会の変化に対応する図書館サービス（3科目）／高度かつ専門的な図書館の知識・技術の向上（8科目）／図書館の理解を深めるための関連トピック（1科目）

中堅職員ステップアップ研修（2）

24科目（60時間）

日程：2014.6/16-18、6/10-11、7/14-16、9/15-07、10/13-15

会場：日本図書館協会

【内容】図書館経営（6科目）／情報サービス（5科目）／情報資源管理（6科目）／図書館サービス計画（6科目）／トピック（1科目）

公共図書館を対象にした中堅司書研修プログラム開発セミナー

日本図書館協会が中堅司書向けの研修プログラムを開発するためのセミナーを開催する。合わせて日本図書館協会が実施している研修事業および認定司書制度についても解説し、司書の意欲的なキャリア形成に資する情報も提供する。

日程：2014.7/18

会場：日本図書館協会

- 公共図書館の児童サービスの現場で中心的役割を果たし、指導者・助言者として活躍できる人を養成します。

児童図書館員養成専門講座

15日間（約90時間）

前期：2014.6/23-28、後期：9/29-10/8

会場：日本図書館協会ほか

【内容】児童奉仕の運営・年間計画、図書館の魅せ方、児童図書館員の仕事、児童図書編集・出版、メディアと子どもの発達、児童奉仕の実際（1）乳幼児サービス、（2）ストーリーテリング、（3）レファレンス、（4）ブックトーク、（5）科学あそび、（6）選書・蔵書構成、（7）図書館の利用に障害のある子どもたちへのサービス、児童資料（1）絵本、（2）外国の児童文学、（3）日本の児童文学、（4）科学の本、おはなしの実演、ブックトークの実演、研修の自己評価とまとめ

- 障害者サービスを担当する職員を対象に障害者サービスの基礎的な技術習得を目指します。

障害者サービス担当職員養成講座（基礎コース）

2日間（12時間）＋実習1日

日程：2014.6/4-6

会場：日本図書館協会、各実習館

【内容】公共図書館の障害者サービスとは・その実際、利用者を知る、利用者にあった障害者サービス用資料、「DAISY等障害者サービス用資料の製作と図書館協力者の養成」、「サピエ図書館・国立国会図書館を活用した情報提供」、「特別支援学校における取り組み」、「聴覚障害者への図書館サービス」、障害のある子供たち・高齢者などへのサービス、「マルチメディア DAISY を活用した障害者への情報支援

実習：グループにわかれて、1日、先進館で実務を体験します。

- 雇用のかたちや仕事の内容を問わず、図書館で働くすべての人たちのための講座です。

図書館基礎講座 2日間（10時間）

非正規雇用職員を対象とした基礎講座。場所は東京、東北、中部、関西、九州など各地にて開催予定。

図書館の理念と社会的役割など、公共図書館現場の視点から基本的な事柄について学びます。

[内容]図書館の基礎、図書館の自由、図書館サービスの動向、選書と出版流通

非正規雇用問題セミナー

日程：2015.1月

会場：日本図書館協会

- 図書館利用教育・情報リテラシー教育の実践について学びます。

図書館利用教育実践セミナー

日程：未定

会場：未定

- 建築にかかわる法・制度・基準の変化、建築技術・設備の発達や、図書館の経営・管理にかかわる考え方の動向、そして利用行動の変容など、最新の考え方、研究成果を取り入れた内容の研修

第36回 図書館建築研修会

日程：2014.秋～冬

会場：未定

※詳細が決まりましたら、「図書館雑誌」メルマガ、ウェブサイトにて告知いたします。

- 多岐にわたる図書館のプリザベーションに関する理解と実践について学びます。

資料保存セミナー「図書資料の整理—基本的な考え方と知識・技術」

日程：2014.6/30

会場：日本図書館協会研修室

● 図書館員の海外研修

ホーナー交流基金(日本図書館協会・米国アリゾナ州図書館協会) 図書館員の海外研修

日本と米国アリゾナ州図書館関係者の相互理解のために、隔年で交互に研修生を交換するプログラム。

派遣期間：2014年(2～3週間程度)、1名

応募〆切：2014.6/9(必着)

※詳細は、「図書館雑誌」4月号。

日本図書館協会「認定司書」

認定司書制度は、司書の専門性の向上に不可欠な図書館の実務経験並びに実践的知識及び技能を継続的に修得した者を日本図書館協会が評価し、公立図書館及び私立図書館の経営の中核を担いうる司書として公的に認定する制度です。

司書職のキャリア形成や社会的認知の向上に資することをねらいとして、2010年度から事業化されており、第1期37名、第2期15名、第3期19名、第4期13名の合計84名の認定司書が誕生しています。

これらの方々の名簿と審査報告は図書館雑誌に掲載するとともに、協会ウェブサイトにも公表しておりますので、ご覧ください。

また、ウェブサイトには、この制度の説明や審査規程、審査会内規、申請書記入要領等のマニュアル類を掲載しております。

ご応募、ぜひご検討ください。

平成26年度 第100回 全国図書館大会 東京大会

— 図書館文化を明日(あした)の力に —

2014年10月31日(金)～11月1日(土)

開催会場：明治大学 駿河台キャンパス
アカデミーコモン、リバティタワー

【最寄駅からのアクセス】

- ・JR中央線・総武線、東京メトロ丸ノ内線/御茶ノ水駅 下車徒歩3分
- ・東京メトロ千代田線/新御茶ノ水駅 下車徒歩5分
- ・都営地下鉄三田線・新宿線、東京メトロ半蔵門線/神保町駅 下車徒歩5分

1日目 全体会、懇親・交流会

会場：明治大学駿河台校舎

(アカデミーコモン)

2日目 分科会・図書館協会会員のつどい

会場：明治大学駿河台校舎

(リバティタワー)

分科会企画、公募中！【6/30締切】

(「図書館雑誌」4・5月号をご覧ください)



会館入り口

- ◆ 詳しくお知りになりたい方
URL <http://www.jla.or.jp>
- ◆ 入会を希望
会員係 TEL 03-3523-0811
E-mail somu@jla.or.jp
- ◆ 出版物を購入
販売係 TEL 03-3523-0812
E-mail hanbai@jla.or.jp
- ◆ 図書館について知りたい
資料室 TEL 03-3523-0814
E-mail shiryoshitsu@jla.or.jp
- ◆ 支援（寄付等）をしたい
総務部 TEL 03-3523-0811
E-mail somu@jla.or.jp



公益社団法人日本図書館協会
〒104-0033 東京都中央区新川 1-11-14
TEL 03-3523-0811(代表)
FAX 03-3523-0841(代表)